

やりたいことを探す方法



オミクロン株の感染が世界的に拡大する中、2月4日から北京冬季五輪が開幕します。昨年の東京五輪では、制限の多いオリンピック開催でしたが選手団の頑張りにより多くの人々が心を励まされました。女子水泳選手の病気を克服しての出場、男子体操選手の世代交代、耐え続けた女子ソフトボール金メダルなど、世界に通用する「ジャパン!」を感じるとともに、大会を支え続けたボランティアの姿も世界に通用すると感じました。荒工にも何人か東京オリ・パラを支えた人がいます。是非、探して話を聞いてみてください。なぜ参加しようと思ったのか。参加して何が得られたのか。今後何かしようとしているか。

人は、皆、平等に時間が与えられています。それでも、得意なことを見付けられる人、なかなか見つけられない人がいます。探している人に助言です。探す範囲を広げてみてください。広げる方法は、多くの人と話をするか、人が書いた多くの書物を読むことです。人と話すことは相手の時間を確保しなければならないので、本を読む法が簡単かもしれませんね。

私の小学生の息子は、ボイスチャットでオンラインゲームをしています。学校で教えてもらっている漢字は読めないのに、画面に出てくる漢字や英語はほぼほぼ理解しています。何とも歯がゆい状況ですが、人と接することは、新たな知識や経験の獲得につながります。ただし、「やりたいこと」と「やらなければならないこと」で、優先すべきことは「やらなければならないこと」です。小学生にこのことを理解させるのは難しく、宿題をやらせるのも一苦労です。

ぜひ、すべきことをして、多くの知見（他人の知識や経験）に触れ、自分のやりたいことを見付けてください。結果、やりたいことがすべきことになります。

ぶらり、あらこう散歩

【全日】授業は、チャイムとともに始まり、授業準備は休み時間中にやることは当たり前。そんな授業ルールをきちっと伝えるのが荒川工業です。ですが、授業が始まり慌てて授業準備に走り出す生徒がいます。先生はどうしていますか？皆さんの戻りを待っているはず。迷子になってしまわないように。当然、友達も待っています。社会で働く際は、働く前に、心を静め、場を清め、時を守り準備をすることが大切です。

【定時】自動運転をどう思う？「便利になると思う」など肯定的な反応の中に、「怖い・・・」という反応。その反応を見逃さず、「実習では、たまに機械のエラーがある。技術者としてエラーが出ることもあるコンピュータ制御に全てを任せることは不安に思う。」と伝える渡邊先生。その後、生徒達は、「人もミスをしますよ。」との発言が出るなど、アクティブモードに。集中力が高まったところで、教科書のバイパス回路を説明、生徒理解の深さを感じました。



アクティブモード！荒工生！

「未来を創る！彩る！荒川工業」